

テラトレール工法（盛土補強工法）

特 長

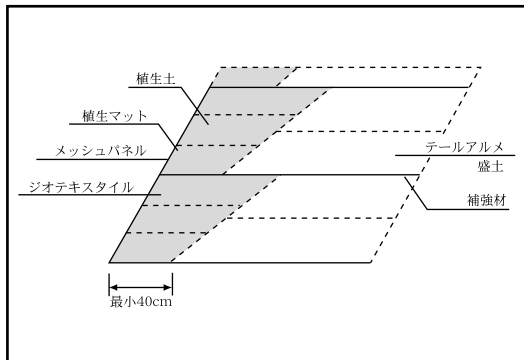
テラトレール工法は、テールアルメ工法の技術を適用して壁面材にメッシュパネルを使用した傾斜壁面を有する工法です。

テラトレール壁は、経済的に優れるのみならず、壁面の緑化の可能です。また、天然石積み仕上げにもでき、景観を配慮した設計ができます。

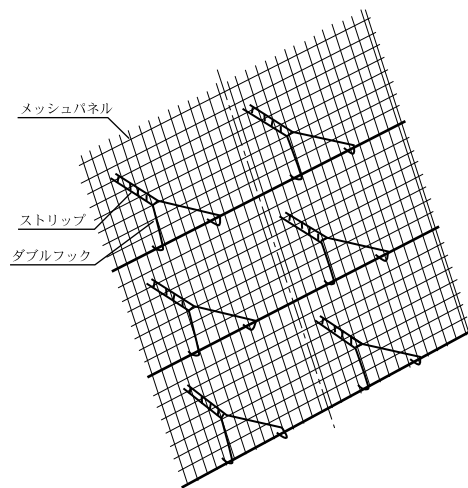
ストリップとメッシュパネルの連結は、ダブルフック・システムで簡便性、施工性が向上しました。

- 1 垂直壁のような視覚的圧迫から開放され、周囲の環境に調和する自然美を追求できます。
- 2 景観を考慮した安全性の高い盛土を構築することができます。
- 3 壁面の傾斜角度は、任意に設定することができます。
- 4 緑に覆いつくされた壁面は、自然に融和し、周辺との調和が保てます。
- 5 部材の組み立て、施工は、規格部材の組み立ての為、熟練工や特殊な技術は不要です。

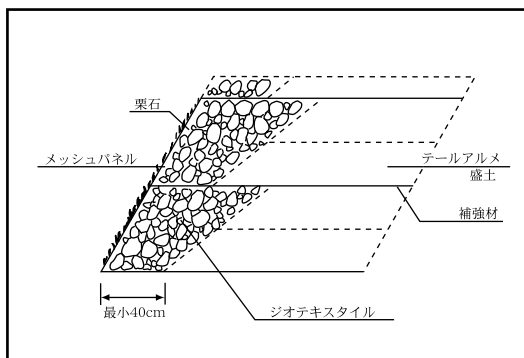
緑化壁タイプ断面図



部材の使用



天然石積壁タイプ断面図



部 材	規 格
メッシュパネル	JIS G 3505 軟鋼線材
ストリップ	JIS G 3101 一般構造用 圧延鋼材
ダブルフック	JIS G 3101 一般構造用 圧延鋼材